

日本共産党 和歌山市会議員

ひめだ高宏ニュース

No.1092

16.3.2

2月定例会市議会報告



3月2日(木)補正議案の採決が終わりました。日本共産党市議団は、市長が提案した34件の議案のうち24件に賛成。問題のある10件について、松坂みち子議員が反対討論として反対しました。今号はこの反対討論の内容について報告します。

松坂議員の反対討論 補正議案10件に反対

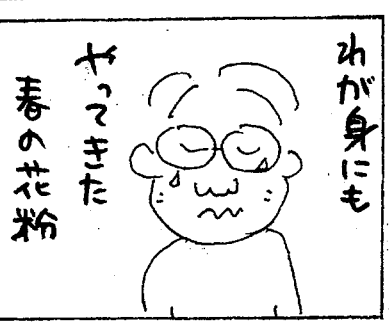
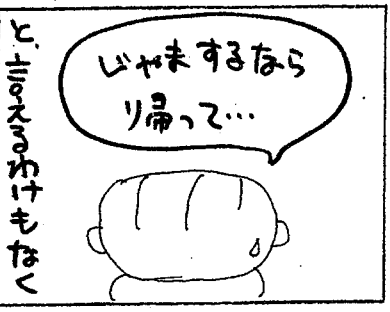
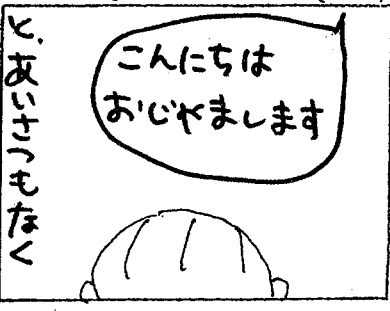
議案19号一般会計補正予算(通常分)、議案39号一般会計補正予算(国補正分)の問題、マイナンバー制度実施の予算についてはセキュリティの強化が求めらるほどの安全性が確保

されていない事業であり進めることが問題。セキュリティの強化にかかる国の補助金の考え方も過度大投資となるおそれがある。住宅耐震改修や中学校給食の委託料など見直しを

求めたい。議案17、18、19号の住宅改修・新築・宅地取得資金貸付事業特別会計補正予算は、貸付金の回収が進んでいないので賛成できません。議案20号駐車場管理事業特別会計は収益はあろうか多額の赤字を生んできた事業であり賛成できません。

算が減額されたのは残念。議案40号、この水の問題のある予算の繰越に反対。議案5号、土地造成事業特別会計への繰出金を年間に億円必要としながらも、当初予算でも億、最終補正で7億円計上し続けていることは予算の持ち方として問題があります。

議案25号介護保険事業特別会計は、介護サービス等給付負担金を18億4千万円減額しています。予算策定時の見込みの母土に起因しており賛成できません。議案26号は後期高齢者医療特別会計補正予算で、75歳以上の高齢者を世帯や家族から切り離して負担を定める制度であるため賛成できません。以上の問題ある補正予算には反対します。

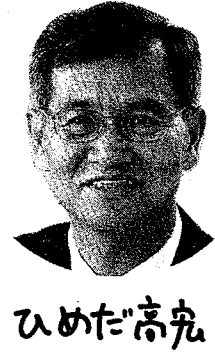


今週のフリーの人々

(38の32)

ついにヤッてキター!! ついに我が身に春がやってきましたよー!! それは、先日風が強い日に突然やってきたような気がします。目が「かゆい」「すすり」にはいられない。ヒツキリと覚えていませんが、2000年頃でしょうか。春先に目がかゆくなり鼻水が出るようになった。これが花粉症の始まりだったかと思えます。なんとなく来るといってこの間から思っています。

たが、この目のかゆみは花粉症だと。鼻水は一月頃からずっと出ていて、鼻風邪かなと思っていたのです。目薬を買おうとチャッ、そういえば昨年も一昨年もその前買った目薬も使い切ることなく部屋のどこかに埋もれています。世の中で、目薬を使い切って、買い換える人と使い切らずに買いたす人のどちらが多いのか...などと自分なりにことを考えています。



ひめだ高宏

2000万人署名実現へ「南の会」結成

2月27日(土)紀三井寺
地場産業振興センターで、
「たばいよ、自民党改憲案、
安倍政権は日本をどうにも
つていくのか」と題し、憲
法の条を守る和歌山共同
センター事務局長の深谷登
さんと講師に開かれた和歌
会に、私、ひめだも参加し
せていただきました。

スライドを駆使し、憲法と
は何か、立憲主義、法律と
憲法の違い、基本的人権と
は、現行憲法と自民党の
改憲案を対比して、わかり
やすく話してくれました。
また、戦争法の問題が、こ
の間の議論を整理して、2
000万人署名の重要性を
話してくれました。

廃止・2000万人署名を
実現する和歌山南地区の会
結成総会が開かれ、こいま
での経過報告と全国・和歌
山の動き、こいからの取り
組みが提案されました。

**2000万人署名
戦争法廃止**

3月20日(日)
10時～11時半

紀三井寺田舎集会所
集会所

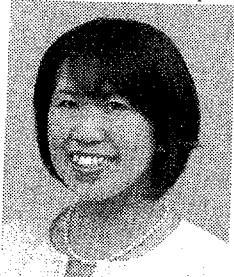
戦争法廃止、2000万人署名を実現せよ
和歌山南地区の会

みんなのこい 日本共産党

戦争体験の話も聞く
戦争法廃止の2000
万人署名のお願いに何う
と、「もう二度と戦争は
嫌だ」と自身の戦時中
や戦後の体験を語ってく
れることが多くあります。
和歌山大空襲は本当に

悲惨な状況だったといこと
を知ることでできました。
今日も、女学校から学徒動
員で明石市に行き、飛行機
の組み立てなど慣れない作
業をさせられ大変だったと
いう話を聞きました。どの
方も運命の大空襲を逃れ「生
き残った」とおっしゃいま
す。亡くなられた方たちの
思いをずっと持ち続けてい
るのだと、お葬りの一つ一つ

が重く響きます。同時に、
二度と同じ過ちを犯して
はいけないという思いも
共有することがあります。
貴重な話を聞かせていた
だけのこと感謝しながら、
毎日署名集めに取り
組んでいます。



坂口 夕美子
(学院区)

潮流
4月からの電力自由
化を前にして購入先
を悩む人が増えてい
ます。東京電力福島
第一原発の事故や地球温暖
化を考え、再生可能エネルギー
を選ばたいと思ってい
る人も多いはず▼全体で20
兆円超といわれる電力市場。
300社以上がひしめくと
予想されていますが、いず
れにしても国民の生活に大
かせない電気を扱うことを
肝に銘じてもらいたい。公
的な使命からいっても電力
会社は公明正大をまとい、
ていなければなりません▼
住民のために安心・安全に
電気を届ける。その義務を
負った電力会社の旧経営陣
が、きょう強制起訴されま
す。原発事故を起こした東
電の元会長ら3人に対し、
必要な対策を怠り、多くの
人を死傷させたとして▼市
民でつくる検査推進会の議
決により、東電は事故が

起きる何年か前から巨大地
震と大津波を予見していま
した。それによって知れ損
傷や全電源喪失に至る危険
性があることも。ところが
「安全かつも経済合理的」
を掲げた幹事たちは対
策を延ばし、時間稼げま
でしていった▼取り返しの
つかない原発事故を引きな
がら、自然災害を理由に「
想定外」とする言い逃れは
通用しません。しかも予見
しながら、意図的に対処し
なかつたとなれば犯罪行為
です▼原発事故の責任を問
う初めての刑事裁判。同時
にそれは、最悪の事故から
何も学ばず、拍子で原発
を再稼働させている安倍政
権の無責任さを糾弾するこ
ともなります。事故から
もうすぐ5年。あのとき胸
に刻んだ、原発のない日本
をいまだ。

赤旗
日刊紙
3497円/月